

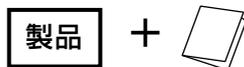
取扱説明書

MULTI GAUGE X80

マルチ表示ブースト計 X8B

この度はPIVOT製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

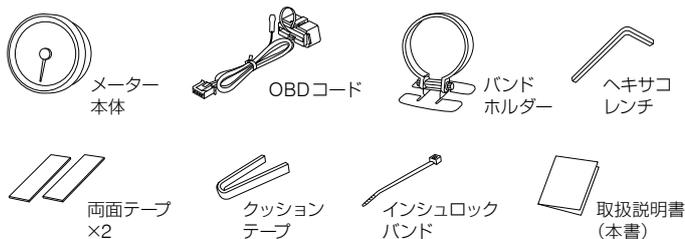
- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書(本書)をお付けください。



目次

内容物・警告・注意	1
特長	1
各部の名称	2
配線接続方法	2
製品の固定	2
基本操作方法	3
表示の切り換え方法	3
ピーク値の表示とリセット	3
ワーニング設定	3
故障かな?と思ったら	4
(別売ブーストセンサー装着方法)	4

内容物をご確認ください



1. ECUが純正品と異なる場合や、サブコンなどをご使用の場合、対応車でも適正表示しない場合があります。(センサー接続時を除く)
2. 故障診断コネクタを利用する他社の製品とは併用できません。
3. PIVOT製OBD装着製品の併用についての詳細は、こちらをご確認ください。⇒ <https://pivotjp.com/obd/>



警告 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- 換気の悪い場所で作業しない
排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。
- コードの被ふくを傷付けない
ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輻破損の危険があります。
- 運転中に操作をしない
運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。
- 製品の固定、配線処理は確実に
製品固定や配線処理は、運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。



注意 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

- DC12V車で使用する
本製品はDC12V車用です。それ以外の電圧のクルマには装着できません。
- 装着直後は製品に強い力を加えない
両面テープで製品を固定した直後は、はげやすくなっています。ご注意ください。
- 薬品類は使用しない
ゴミ・汚れが付着した場合、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。
- 高温となる場所や水のかかる場所には装着しない
故障の原因となります。
- ネジ・部品は元の状態に戻す ●まぶしく感じる場所には装着しない
- 加工・分解および改造をしない

特長

1台に3種類を表示する、見やすいφ80マルチゲージ。

OBDIIコネクタへの簡単接続タイプ

マルチディスプレイ

複数情報を見やすく表示するφ80のマルチディスプレイ。

表示切り換え

各表示は、メーター部のスイッチでワンタッチ切り換え。

OBDIIへ簡単装着

OBDIIコネクタへ差し込むだけの簡単装着。

センサー装着も可能

サブコン使用でブースト圧に誤差が生じた場合にも別売のブーストセンサーが装着可能。

反射を防ぐマットブラックベゼル

光の反射による眩しさを防ぐ黒の艶消し塗装のベゼル。

メーターホルダー付属

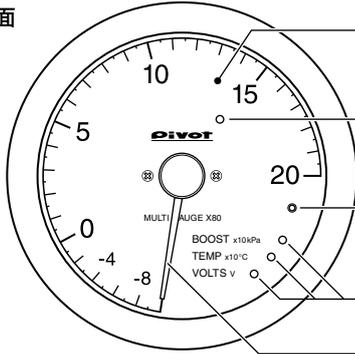
メーターを様々な場所に両面テープで設置できるバンドホルダーを付属。

ピークホールドとワーニング

各表示のピークホールドと、設定したブースト値以上でワーニングランプが点滅可能。

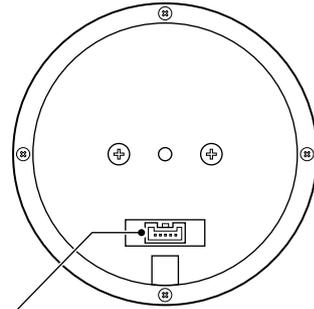
各部の名称

正面



- 文字板 各データを表示
表示中イルミは常時点灯 (白照明)
- ワーニングランプ
設定したブースト値以上で点滅 (赤)
- スイッチ
モード切り換えやピーク値リセットなど
- モードランプ
使用しているモードを表示 (赤)
- 針 現在の数値やピーク値を表示

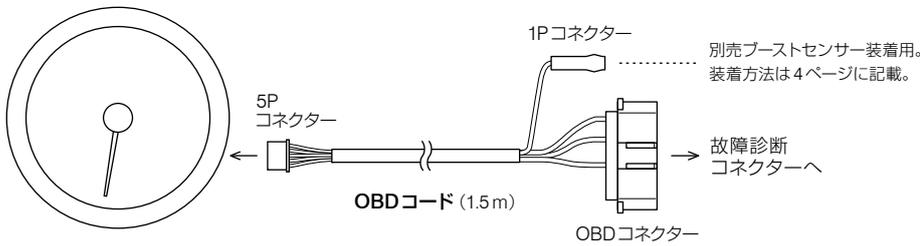
背面



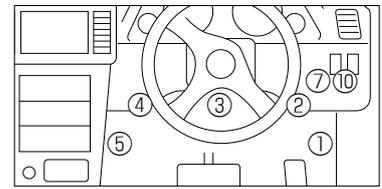
電源用コネクタ (5P)
OBDコードを接続

配線接続方法

基本配線



故障診断コネクタ位置図



トヨタ	②③④	マツダ	②④⑩
日産	②③④⑦⑩	スバル	①②③④
ホンダ	②④	スズキ	②③④
三菱	④⑤	ダイハツ	②③④

接続手順

- エンジンを始動する。
- OBDコネクタを車輻の故障診断コネクタに差し込む。
- 5Pコネクタをメーター背面に差し込む。

- ① アクセルペダル脇
- ② 運転席足元右側 (フタ付の場合あり)
- ③ 運転席足元中央
- ④ 運転席足元左側 (フタ付の場合あり)
- ⑤ センターコンソール右脇
- ⑦ ステアリング脇パネル裏 (フタ付)
- ⑩ ステアリング右パネル (小物入れ上部)

OBDコネクタ取扱時の注意点

差し込み時・抜き取り時は、この凸部を持ってください。

注意

コネクタ抜き取り時、コードを持って引き抜くのは絶対におやめください。断線の恐れがあります。

凸部を握れない場合

車種によっては、コネクタが奥まで入っていて、凸部を握れない場合があります。

その場合は、インシュロックバンドの輪の部分を持って引き抜いてください。

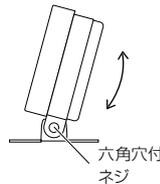
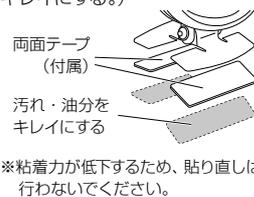
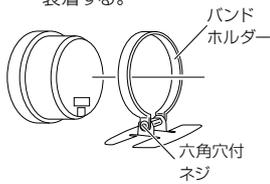
製品の固定

車内の見やすい場所へ取り付けます。

A. バンドホルダーを使用する

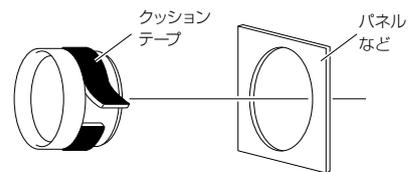
強度のある場所に両面テープを使用して固定します。(コラムカバー上、ダッシュボード上など)

- ネジを少しゆるめ、メーターをバンドホルダーに装着する。
- 両面テープで固定する。(貼り付け部の油分や汚れは、キレイにする。)
- 見やすい角度に合わせた後、ネジを固定する。



B. パネルなどに埋め込む

- メーターの根元にクッションテープを巻く。
- 直径80mmの穴に圧入状態で差し込む。

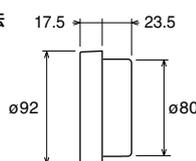


様々な場所に取付可能

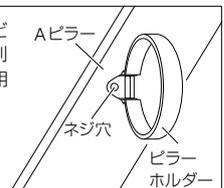
両面テープで様々な場所に取り付き、取付後の角度調整も可能です。



メーター寸法 (mm)

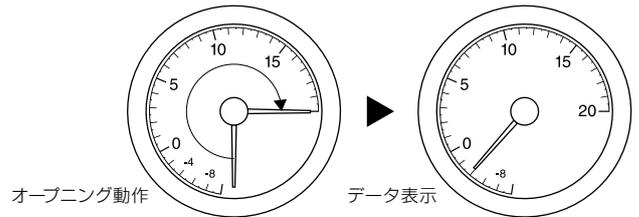


- Aピラーやコラムカバーなどに穴開け固定する場合は別売のピラーホルダーをご使用ください。
- ピラーホルダー φ80用
PH-80 ¥1,780 (税別)

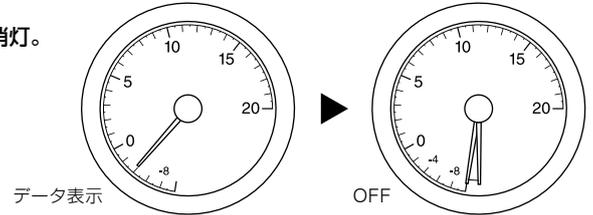


基本操作方法

エンジンを始動 ▶ 針がオープニング動作後、各データを表示。
 ※動作開始には車輻側との通信の関係上、エンジンを始動後数秒かかる場合があります。



エンジンを停止 ▶ 針が最低値付近から約一目盛りへ移動。イルミ消灯。
 ※車種によっては1分程度かかる場合があります。



表示の切り換え方法

スイッチを押すごとに各表示が切り換わります。

<p>ブースト 純正センサーの数値を表示</p> <p>85 kPa 例</p> <p>標高などの影響でエンジン停止時に0よりマイナスして表示される場合があります。</p> <p>表示 -100~154 kPa (OBD) -100~200 kPa (別売センサー装着時)</p>	<p>水温 純正センサーの数値を表示</p> <p>60 °C 例</p> <p>表示 -35~150 °C</p>	<p>電圧 電源の電圧を表示</p> <p>14.5 V 例</p> <p>表示 8.0~18.0 V</p>
---	---	--

ピーク値の表示とリセット

<p>1 各表示中にスイッチを1.5秒長押し</p> <p>1.5秒 ピーク値表示</p> <p>モードランプが点滅し、ブーストと水温は最高値、電圧は最低値を指します。</p>	<p>2 ピーク表示中にスイッチを1.5秒長押し</p> <p>1.5秒 ピーク値リセット</p>	<p>3 4秒間スイッチ操作なし</p> <p>通常表示</p>
---	--	---

ワーニング設定 ブーストのみ設定可能

ワーニングポイント設定

ワーニングランプが発光するブースト値を設定。

1 4秒 ブースト表示中にスイッチを4秒長押し

- 途中でピーク値 (1.5秒後) が表示されますが、ワーニングランプが点滅するまで押し続けてください。(針は現在の設定値を指します。)

2 スwitchを押して、設定したい数値まで針を動かす

設定可能範囲: 0 ~ 200 kPa

- スイッチを押すごとに、設定値が上がります。
- 上限値 (200 kPa) に達すると、0に戻ります。
- スイッチを押し続けると、針は上限値まで連続して動きます。

3 4秒間操作なしで通常表示に戻る ▶ 設定完了

ワーニングランプ明るさ設定

ワーニングランプの明るさを5段階で設定。

1 7秒 ブースト表示中にスイッチを7秒長押し

- 途中でピーク値 (1.5秒後) とワーニングポイント (4秒後) が表示されますが、ワーニングランプが点灯に変わるまで押し続けてください。(針は最低値を指します。)

2 スwitchを押して明るさを切り換える

5段階

スイッチを押すごとに明るくなり、最も明るい状態で押すと、最も暗い状態に戻ります。

3 4秒間操作なしで通常表示に戻る ▶ 設定完了

故障かな?と思ったら

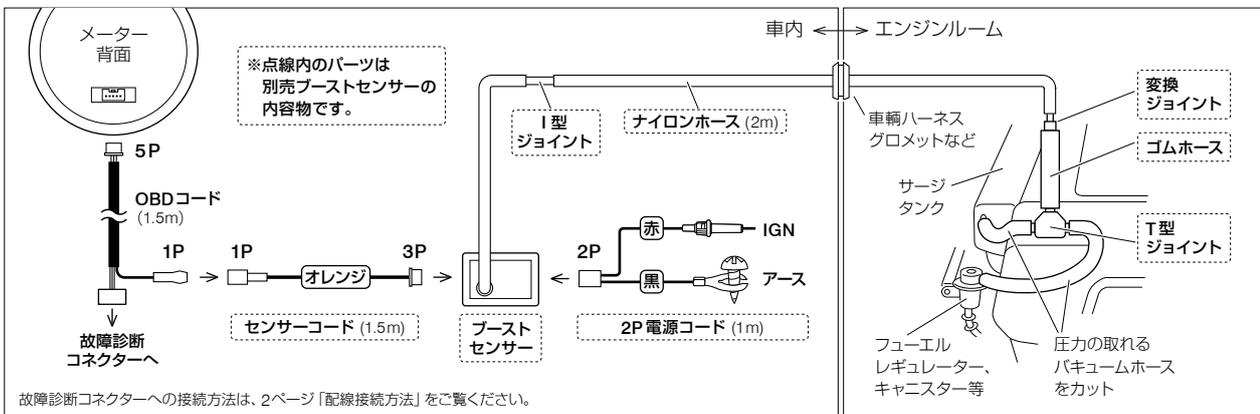
症状	原因	対策
エンジン停止時に0より少しマイナス表示する。	標高などの気圧影響によるもので、故障ではありません。	
エンジン始動で動作しない。	5Pコネクター OBDコネクター の接続不良。 対応外の車種に取り付けている。	再度ご確認ください。 対応車表をご確認ください。
オープニング動作前に針が一瞬動く。	メーターの特性で、異常ではありません。	
表示が純正メーターや他のメーターとズれる。	本製品の各表示数値はクルマ側のECUの情報で、一部車種で純正メーターや他のメーターと誤差が生じる場合があります。	
ワーニングランプが発光しない。	ワーニング設定したブースト値に達していない。	3ページの「ワーニング設定」をご参照の上、設定したブースト値をご確認ください。

別売ブーストセンサー装着方法 ブースト圧を車輪センサーではなく、別売センサー（相対圧）により計測する場合。

別売ブーストセンサーを装着することで、ブースト圧を相対圧センサーにより計測することができます。サブコン使用時などブースト圧に誤差が生じた場合にご使用ください。

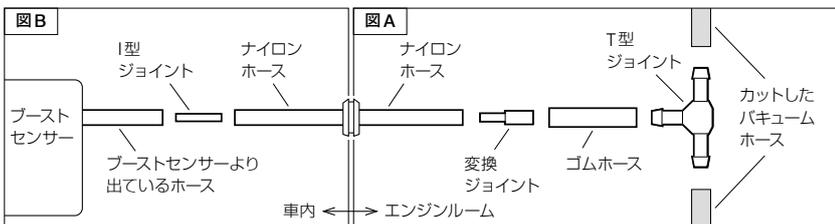


ブーストセンサー
品番: XBS
価格: ¥7,800 (税別)
サイズ: 50×35×20 mm



ブースト配管

- ① エンジンルームで、サージタンクやインテークマニホールドから直接出ている、圧力の取れるパキュムホースをカットします。(例: フューエルレギュレーター、キャニスター等へつながっているホース)
- ② T型ジョイントを割り込ませ、図Aを参考に、各ホースとジョイントの接続を行います。
- ③ ナイロンホースを車輪ハーネスグロメットなどを利用して車内へ引き込みます。
- ④ 引き込んだナイロンホースとユニットのホースをI型ジョイントを使用して接続します。(図B)



⚠ 装着に関するご注意

- ブーストセンサーは必ず車内に取り付けてください。(エンジンルームは不可)
- ブーストセンサーから出ているホースを引っばって抜かないでください。
- 車輪の圧力のとれるホースがφ4以外の場合は、車輪に合ったサイズのジョイントを別途ご用意ください。
- ホースやジョイントはそれぞれ確実に接続し、簡単に抜けてしまわないか、圧力漏れはないかなどをご確認ください。(状況によっては、各接続部に抜け防止処理をしてください。)

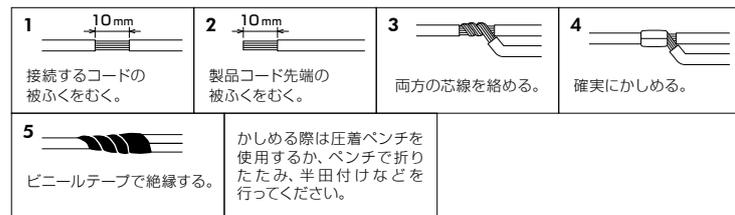
IGN

赤 キースイッチ ON で+12Vの場所へ付属のカットギボシを使用し、接続する。(常時・ACC不可)

アース

黒 アースが取れる金属部のネジに固定する。
※プラスチック部や塗装したネジではアースが取れませんので、確実にアースの取れる場所で固定してください。

【参考】カットギボシの使い方



※弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれております。
※意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。
※PIVOTマーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。